

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

つよし

—第44号—

令和2年2月17日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 耐雪梅花麗(ゆきにたえて ばいかうるわし)

「雪に耐えて梅花麗し」一昨年のNHK大河ドラマ主人公「西郷隆盛」の言葉ですが、「苦しまずして栄光なし」という意味の言葉で、冷たい雪に堪え忍び、春に芳香放ち見事に咲きほころぶ梅の花に喩えた言葉です。

この言葉と共に、2月になるといつも思い出す風景があります。私の前任校は、大学や高校が近隣にあり、校門の前で立哨指導をしていると学生が毎日頻繁に通っていました。2月のある日、近くの大学で入学試験がありました。冷たい空気の中、白い息を吐きながら、緊張した面持ちで、試験会場に向かう学生達の顔・顔・顔…そのピンと張り詰めた表情と空気に、私も毎年のように思わず胸が熱くなる、そんな朝のことです。「先生？田川先生ですよ？」突然、背後から声をかけられたのです。見ると昔卒業させたA君でした。当時、学ぶことは好きでも勉強はまるで得意でなく、よくいらぬことをして叱られた子でしたが、自分よりも人を大切にする優しい素直な子でした。早くにお父さんを亡くし、お母さんが苦勞して育てたそんな背景をもつ子です。聞くと、これから正に受験会場に向かおうというところ。「わあ、俺、緊張してたけど、先生に会えて、なんかいいことありそうな気がして来た！行ってきます！」…勝手にラッキーアイテムのようにされた私は、逆に変な重圧を覚えつつも、「やってきたことを出し切っておいで！」と背中を叩いて見送りました。

そして、後日、A君は、誇らしげに見事「合格通知」をもって、挨拶に来てくれました。昔のことと共に、卒業してから彼の歩んできた険しい努力の道を思い、胸がいっぱいになりました。

小学校では、時折、卒業した子どもたちが、夢を叶えて報告に来てくれます。どの子もそれぞれに努力を重ね、苦しみながらもあきらめず夢をつかんだ誇らしい顔で、正に梅花のごとく輝いています。合格はゴールではなく、自分の歩む道の一過程だ、ということもその子たちには伝えていますが、ひとつひとつ確実に乗り越え未来へ進んでいく子どもたちに、エールを送ります。

「温かい春はまもなくですよ」と。

## ボランティア標語コンクール

今年度も「ボランティア標語」の募集があり、津吉小学校からも118点の標語を応募しました。審査の結果、下記の7名の作品が入賞を果たしました。おめでとう！！

賞	作品（標語）	氏名	学年
優秀賞	「どうしたの」 まちをみまもる ボランティア	山口 桃花	2年
	ボランティア 小さい力 大きな未来	江口 莉世	4年
奨励賞	地域のごみ 拾ってきれいに 町のために	山口 実月	5年
特選	ボランティア みんなできるよ おてつだい	藤川 玲那	2年
	どうですか てつだいますよ ぼくでよければ	青崎 陽仁	2年
	ゴミひろい 少しだけでも ボランティア	内山 蓮	6年
	ぼきんしょう だれかを救う ワンコイン	針尾 萌香	6年

【お礼】前津吉在住の吉永たえこ様より、学校の教育活動に活用してくださいと、雑巾200枚をいただきました。ありがとうございました。

